

論文審査の結果の要旨

平成31年2月12日

林 宸緯 に対する学位請求論文審査並びに口述審査を行い、主査および副査3名の審査結果をまとめ、下記のとおり報告する。

学籍番号・氏名 : DI2015-001 林 宸緯

論文題目 : 小売業起点における SCM の効率化に向けての情報戦略
－発注精度の向上とカテゴリーマネジメントにおける ID-POS データ
の戦略的活用－

口述審査実施日 : 平成31年2月8日(金) 16時40分～17時40分

口述審査場所 : 城西国際大学東金キャンパス本部棟4階会議室

審査の結論として、上記の林宸緯の論文は、博士論文に相当するものとし、合格と判断する。

論文の前半では、この分野の先行研究および現在の最新研究動向について丹念な調査に基づいて的確にまとめている。そして後半では、本研究の具体的な提唱として、ID-POS データのカテゴリーマネジメントへの活用について詳述している。

ただし、当初の研究目的であった発注精度の向上に対する結論が必ずしも明確に説明されていないので、結論の中でこの点について付加する必要がある。これは、研究の過程の中で、カテゴリーマネジメントにおける ID-POS データの活用そのもの、その可能性の広がりには焦点を当てすぎてしまったものと思われる。

上記のとおり補強すべき点はあるが、本研究は、小売業におけるカテゴリーマネジメントを販売視点ではなく購買者視点から考えていくために、ID-POS データをいかに活用すべきかについて方法論を検討し、いくつかのデータ分析の結果によって得た知見をまとめることができた。ここでの方法論と知見は、この分野の研究において貢献できたと評価する。

なお、口述審査についても、論文内容についての分かりやすいプレゼンテーション、そして、発表内容に対する的確な質疑応答であり、高評価を与えることができる。

以上のとおり、今後、林宸緯のさらなる研究の進展を期待しつつ、学位授与に値するものと判断する。

主査(職・氏名) 教授 福島 和伸